

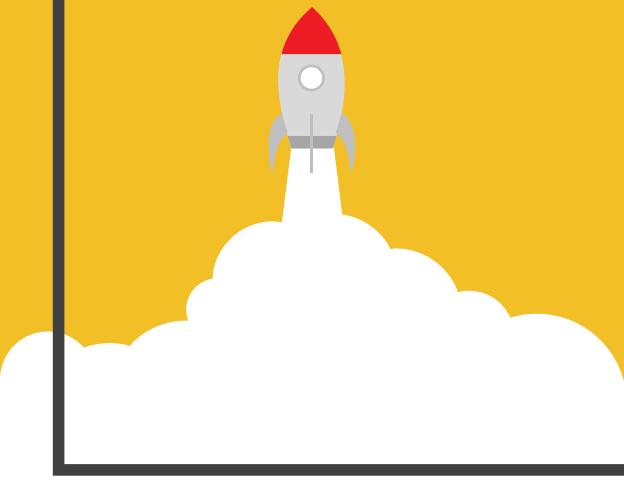
JaSST Online Edelweiss

「一通りできるようになった」 その先の話

サイボウズ株式会社
ひとみ (@hitomi__kt)



自己紹介



【所属】
サイボウズ株式会社 開発本部

【会社の理念】
チームワークあふれる社会を創る

【会社の事業内容】
グループウェアの開発、販売、運用

【自分の担当製品】
BtoBのノーコード/ローコードSaaS
※自社開発

学生（生物学）

食品開発

無職

QAエンジニア

生き物どっぷり期

四苦八苦期

お悩み期

必死期

充実期

大学受験

研究就活

研修

商品開発

退職

転職

JSTQB
FL

WACATE
参加

PM
体験

産休
育休

'08

'11

'17

'18

'19

'20

'21

'22

'23

リーマン
ショック

東日本
大震災

令和
元年

研究の経験
を活かして
ものづくり
をしたい

研修つらすぎる
配属先楽しい

今後の
人生
どうし
よう...

毎日必死でヘトヘト
充実した研修に感謝
勉強会楽しい

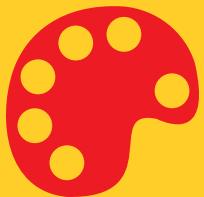
できることも
やりたいことも
増えて楽しい

開発チームの構成



Product Manager

PBI作成
開発計画の策定
お客様への対応



UX・UI Designer

プロトタイプの作成
ユーザビリティテスト
デザイン調整



QA Engineer

新規機能の試験
その他試験
問い合わせ対応



Programmer

新規機能の実装
性能改善
不具合改修

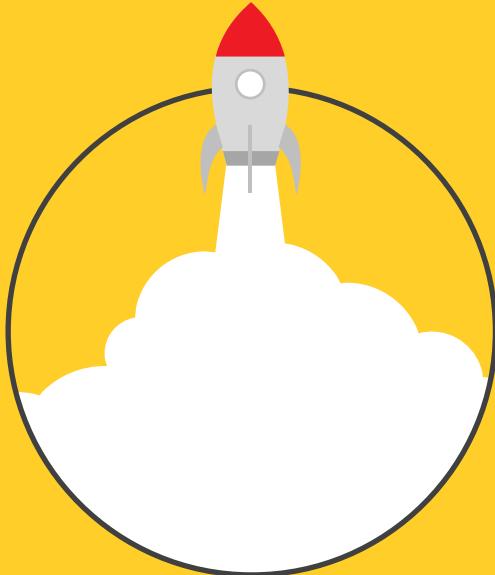


Product Writer

製品文言の検討
ヘルプ作成
アップデート資料作成

QAの主な業務





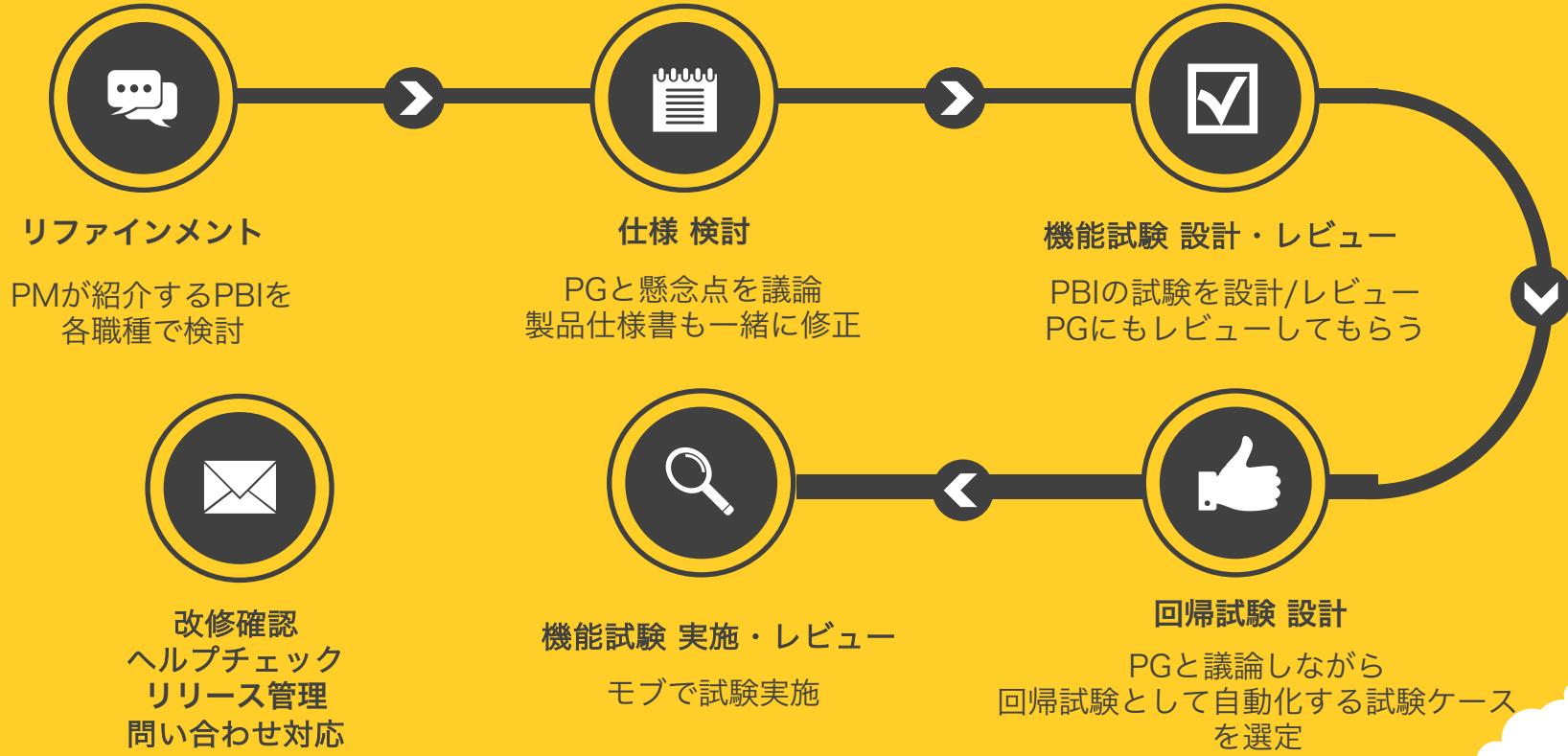
3年目に当たった壁



一通りできるようになったけど

この先、
何を伸ばせばいいのだろう…

QAの主な業務



新機能開発が 好き



新機能をリリースすると
顧客やステークホルダーの反応がある

喜び、不満、要望、…
→喜びはもちろん嬉しい
すべての反応が大事なインプット

インプットがあるとアイディアが生まれる
アイディアから新機能が開発される
新機能によって世の中の課題が解決できる
→新機能によって世の中をよくできる
(と信じている)

より良い新機能開発のために伸ばしたいこと

実装観点で 不具合を防ぐ

不具合によって顧客に与える
悪影響を減らしたい

改修による手戻りや
無駄な試験を減らして
新機能開発や改善のような
価値を上げる活動を増やしたい

ビジネス観点で 価値を高める

製品の価値や顧客を理解して
よりよい仕様を
考えられるようになりたい

不具合による顧客への影響を
想定することで
不具合の優先度を
判断できるようになりたい



具体的にやったこと

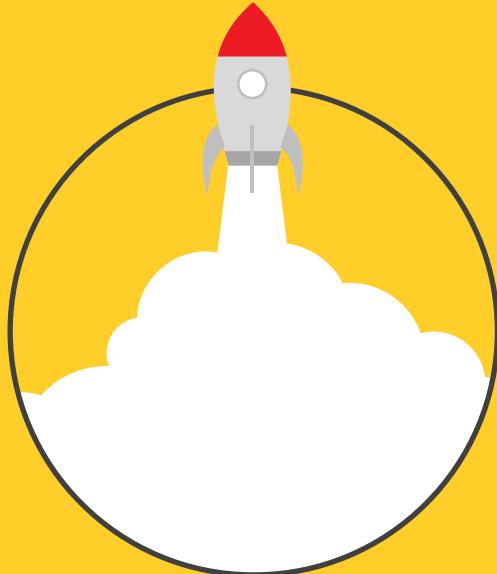
実装観点で 不具合を防ぐ

- ・不具合の作り込みを防ぐ
- ・過剰なテストはしない
- ・適切に自動化する

ビジネス観点で 価値を高める

- ・製品の価値を理解する
- ・ビジネスを把握する
- ・ユーザーの解像度を上げる
- ・優先度の高い不具合を知る





実装観点で不具合を防ぐ

不具合の 作り込みを防ぐ



実装前の調査

- ・既存の仕様/挙動/不具合
 - ・実装/仕様/試験における不明点
- 上記をPGへフィードバックし、議論する

例) こんな仕様あったのか

この機能は忘れそう、確認項目に入れよう

この不具合はついでに直るかも

ここは違う処理なので影響受けないはず

実装前に観点を増やすことで実装漏れを減らす
試験前に実装のことを知ることもできる

過剰なテストは しない



適切なフィードバックを目指す

- ・ 実装完了から不具合報告までの時間が長い
→ 実装の記憶を掘り起こす必要がある
- ・ 試験時間に対して検出不具合が軽微/ない
→ (一概には言えないが)
試験工数が無駄になっている可能性

テストケースを絞るのに大事なこと

- ・ 実装を (ざっくり) 理解する
例) ○○と△△の共通部分に手を入れた
→ どちらか一方の機能を試験すればよい
- ・ 優先度の高い不具合とはなにかを把握する
→ 後述

適切に 自動化する

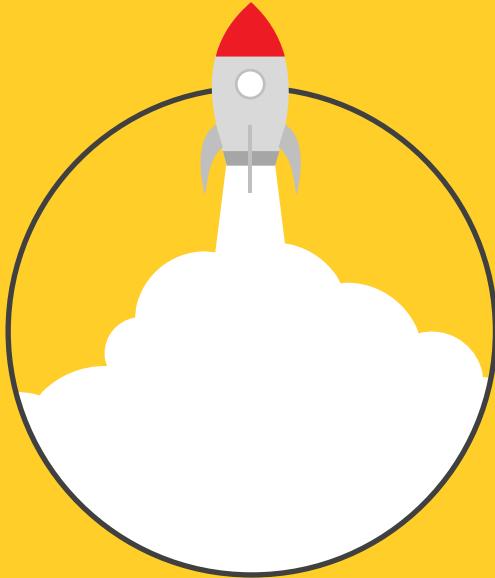


適切なレイヤーで自動化する

- ・ PGと相談しながら
テストピラミッドに沿った自動化を進める
→不安定なテストを減らす
自動テストの実行時間を減らす

必要な項目を自動化する

- ・ PGと相談しながら
実装的に壊れやすい箇所を自動化する
- ・ 優先度の高い不具合を検知できる項目を
自動化する



ビジネス観点で
価値を高める

製品の価値を理解する



- ・どんな思想から生まれた製品なのか
- ・どんな課題を解決できるのか
- ・顧客やステークホルダーは何に価値を感じているのか

自分が開発している新機能は
どんなテーマの元で生まれたアイディアなのか

開発計画を読み込む
PMの仕事をやってみる

ビジネスを理解する



作った製品は
どんな流れで顧客に届いているのか
・販売網
・購入に至る経路
・購入した後に起こっていること
(自社、ステークホルダー、…)

ビジネスを知ることで
製品の立ち位置や価値が見えてくる（はず）

PMの会話を聞く
営業やマーケの会議や資料を覗いてみる

ユーザーの 解像度を上げる



ユーザーは同じ属性ではない

- ・購入を決める人
- ・管理者
- ・画面を使う人

ユーザーの属性によって使う画面も変わる
求めるものも変わる

自分が開発している新機能は誰に向けたものか
意識して開発してみる

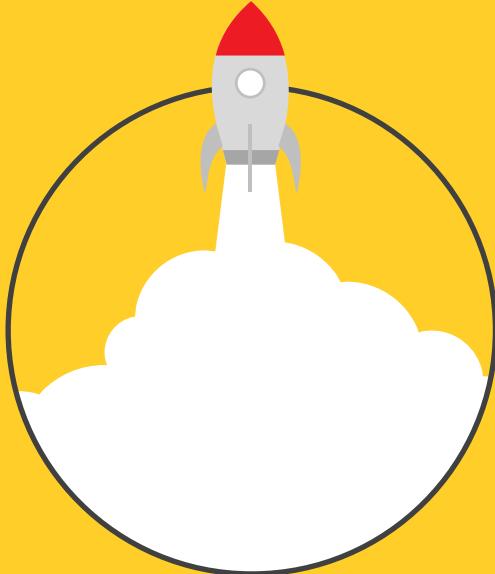
優先度の高い 不具合を知る



QAが軽微だと思う不具合
= 優先度の低い不具合
では必ずしもない

例) 文言が違うけど操作はできる
→別の操作と誤解してサポートに問い合わせが殺到する

例) 画面が見えづらいけど操作はできる
→マイナスの印象が強くなり使わなくなる
使われる見込みのない製品には投資しない



まとめ

具体的にやったこと

実装観点で 不具合を防ぐ

- ・不具合の作り込みを防ぐ
- ・過剰なテストはしない
- ・適切に自動化する

ビジネス観点で 価値を高める

- ・製品の価値を理解する
- ・ビジネスを把握する
- ・ユーザーの解像度を上げる
- ・優先度の高い不具合を知る



まだまだ 先は長い…



まだまだ「できた」とは言えない
自分の考えが合っているのかも分からぬ
正解もない

でも、担当製品が好き
担当製品の価値を届けたい
信頼できるチームメンバーと働けている

だから、もっとできるようになりたい！
勉強したいことが山ほどある…！



ありがとうございました！